

事業番号	09 03 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	H17～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	6-1 個性豊かな地域づくりの推進						

1 現状と課題

- ・野生鳥獣による農林業被害の現状は、H20年度から13年連続で減少しているものの、令和3年度農林業被害額は730,637千円で依然高い水準にある。
- ・野生鳥獣の生息区域の広域化や、捕獲活動の中心的な担い手である狩猟者の減少・高齢化が進展している。
- ・このため、狩猟を行う担い手の育成や集落自らの活動を促す取組みが必要になっている。

2 事業目的

集落全体で住民自らが地域の実情に合わせた「防除対策」・「捕獲対策」・「生息環境対策」・「ジビエ振興」等を複合的に組み合わせた被害対策が実施され、将来的にも持続可能な自立した体制を整備する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① 総合被害対策の支援
- ・野生鳥獣の集落及び農地への侵入を防ぐため、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して市町村等が行う侵入防止柵の整備や柵整備資材の購入を支援するとともに、野生鳥獣の捕獲を実施するための資材及び、生息状況把握のための機材等の購入を支援。
- ② 鳥獣被害対策チームによる被害集落の活動支援
- ・集落全体で住民自らが地域の実情に合わせた被害対策を自立的に行える体制整備を支援するため、各地域振興局に組織した野生鳥獣被害対策チーム（林務課、農業農村支援センター職員）による集落支援活動を実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ㇀：改善 ㇁：悪化 ㇂：変化なし ㇃：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度(速報値)		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	野生鳥獣による農林業被害額	千円	739,890	730,637	㇀	736,664 (速報値)	㇁	725,939	未達成	被害防止活動の指標として設定。 R4年度は前年度実績から約1%減を目安に設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
					うち一般財源		
R4年度	0	252,356	△ 95,439	156,917	517	141,721	6.0
R3年度	0	252,458	△ 55,239	197,219	522	163,531	6.0
R2年度	0	252,577	△ 18,883	233,694	539	157,329	6.0

事業番号	09 03 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

6 主な取組実績と成果

○総合被害対策の支援

・県内7広域において、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した侵入防止柵設置や防護柵の資材購入費を支援（防護柵の整備約41.3km）するとともに、県内9広域において、鳥獣捕獲用のわなの購入や、生息状況調査用のセンサーカメラ等の機材の購入を支援し、野生鳥獣被害の被害軽減に寄与した。

○鳥獣被害対策チームによる被害集落の活動支援

・各地域振興局に組織した野生鳥獣被害対策チーム（林務課、農業農村支援センター職員）による地域毎の集落支援活動（電気柵設置講習会等）により、集落内で効果的な電気柵を整備する際に必要な技能の向上が図られた。
 ・野生鳥獣被害対策チームの集落支援能力向上のため、研修を複数回実施し、集落が地域ぐるみで行う被害防除活動等への対策チームによる支援体制が強化された。



写真：電気柵設置講習会(座学)



写真：電気柵設置講習会(実技)

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	野生鳥獣による農林業被害額	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
捕獲活動の促進や侵入防止柵・緩衝帯の整備等が着実に進んでいるため、農作物の食害が減少している。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
野生鳥獣による農林業被害は依然として高い水準にあり、中山間地域における集落の過疎化や高齢化、捕獲活動の中心的な担い手である狩猟者数の減少及び高齢化といった課題への対応が必要である。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
集落の住民自らが、地域ぐるみでの効果的な防除、捕獲対策等に取り組めるよう、野生鳥獣被害対策チームによる働きかけと支援を強化するため、チームメンバー及び市町村担当者を対象とした研修カリキュラムを組み実施する。

事業番号	09 03 03	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	野生鳥獣被害対策事業		157,329 千円	163,531 千円	141,721 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	鳥獣被害防止総合対策事業	交付金	鳥獣被害を防止するため、市町村や地域協議会に侵入防止柵・緩衝帯の整備や捕獲に使用する罠等の資材購入に対する補助金を交付。 交付対象の5町村及び36協議会に対して補助金を交付（額：139,744千円）		
2	野生鳥獣対策支援体制整備事業	直接	鳥獣及び被害防除に関する知識を備えた専門技術員による被害対策チーム指導に係る経費 専門技術員や対策チームの体制強化のための研修会を2回実施		
3	集落組織体制整備事業	直接	各地域振興局に設置されている野生鳥獣被害対策チームによる集落支援活動経費 ライトセンス(※)の実施及び被害対策啓発チラシ1,200部作製 ※ 夜間にライトで動物を照らし、ライトの光反射により動物を数える調査		